

廃棄物計量システム発売

クボタ

大型画面と音声案内搭載



SP500-D指示計(A)と KM-D台部(B)

クボタは、オフィスや職場などから排出される廃棄物を、バーコードを使って計量・管理する廃棄物計量システム「SP500エコシリーズ」を開発、本格販売を始める。

日々の廃棄物を排出する工場やオフィスビル、自治体、商業施設など、提案営業し採用を働きかける。台ハカリやトラックスケールが主力の同社計量システム部が20

00年に開発したものをリニューアルした。新システムは計量台部と指示計、バーコードリーダーで構成。利用者、あらかじめ職場名やテナント名、ごみ種などを登録したバーコード(ラベル)を排出時に袋に貼付。計量台上でバーコードを読み取り、計量情報を指示計に入力してから収集場所へ運ぶ。バーコードが貼付されていない場合でも、タッチパネルからコード名または一覧表で呼び出すことができる。

指示計は12.1型大

型カラータッチパネルと音声ガイドで操作しやすく、計量データはUSBメモリで取り出せるほか、ネットワーキング接続も可能。また、別売の管理・集計ソフトを使用すれば、排出元別、ごみ種別に日次・月次・年次の定型帳票も作成でき、削減目標に対する進捗が正確に把握できる。

全8型式あり、価格はひょう量、載台形状・材質により83~198万円に設定。今後、ますます需要増を期待する。

問い合わせは、クボタ久宝寺事業センター(大阪府八尾市、☎072・993・1977)。